

2026 年 8 月 5 日

泌尿器科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「膀胱頸部縫縮を要した RARP 症例における術後尿禁制回復に関する観察研究」への協力をお願い

泌尿器科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2018 年 8 月 1 日～2024 年 1 月 31 日の間に、当科においてロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（RARP）を受けられた方。18 歳以上の男性の方。

**研究期間：**研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

**研究目的・利用方法：**本研究は、RARP を受けた患者さんの診療情報を用いて、手術中に膀胱頸部縫縮を行った場合の術後尿禁制回復の経過を調べます。得られた結果は、今後の手術方法の検討や術前説明に役立てることを目的とします。

**研究に用いる情報の項目：**

日常診療で得られた以下の診療情報を用います。

- ・患者背景：年齢、BMI、ECOG PS
- ・術前腫瘍学的情報：PSA 値、生検 Grade Group、臨床 T 分類、臨床 N 分類、臨床 M 分類、NCCN リスク分類
- ・解剖学的・手術関連情報：前立腺体積、膀胱頸部縫縮の有無、神経温存の有無、リンパ節郭清の有無、コンソール時間、推定出血量
- ・病理学的情報：病理 T 分類、切除断端陽性、被膜外進展、神経周囲浸潤、静脈侵襲、リンパ管侵襲、脈管侵襲、病理 Grade Group
- ・術後経過：術後補助療法、リハビリ実施の有無、Pad 1 枚以下達成の有無、禁制達成日又は観察期間、禁制達成イベント、観察期間

**研究に用いる情報の利用を開始する予定日：**2026 年 8 月 7 日

**研究への参加辞退をご希望の場合**

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### **研究責任者**

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

氏名：古家 琢也

### **連絡先**

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

電話番号：058-230-6341

氏名：富岡 奨幸

### **【苦情窓口】**

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059（平日 8:30 から 17:15）

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp